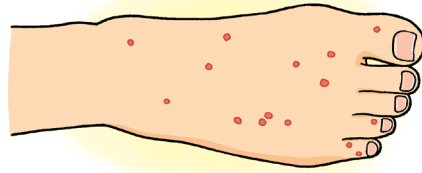


# 学校感染症シリーズ① 手足口病・ヘルパンギーナ

## 手足口病・ヘルパンギーナの主な症状

手や足に赤い「ぶつぶつ」ができる(手足口病)



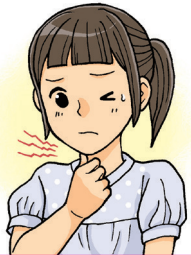
口(くちびる)の周りに赤い「ぶつぶつ」ができる(手足口病)



口の中に白い「ぶつぶつ」ができる(手足口病・ヘルパンギーナ)



のどに痛みが出る(手足口病・ヘルパンギーナ)



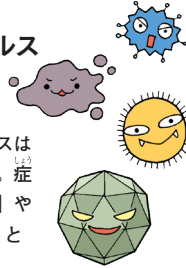
高熱が出る(ヘルパンギーナ) 発熱することがある(手足口病)



手足口病やヘルパンギーナは、夏に多く発生し、乳幼児だけではなく、小学生もよくかかる感染症です。

## 原因となるウイルス

エンテロウイルス  
など



原因となるウイルスは  
いくつもあります。症  
状から「手足口病」や  
「ヘルパンギーナ」と  
診断されます。

感染者の飛まつ(せきやくしゃ  
みなどで飛ぶつばのしぶき)や  
便の中において、そこから、ほか  
の人にウイルスが感染します。

いくつものウイルスが原因となるため、くり返し  
かかる場合があります。

「ぶつぶつ」ができる感染症です。  
ヘルパンギーナは、熱やのどの痛みが出て、  
手足口病と同様に、口の中に小さくて白色の  
「ぶつぶつ」がかかる感染症です。  
どちらも夏にかかることが多い感染症で、  
こまめに石けんを使った手洗いをすることが、  
予防につながります。

## かかったときの対応 (手足口病・ヘルパンギーナ共通)

安静にする



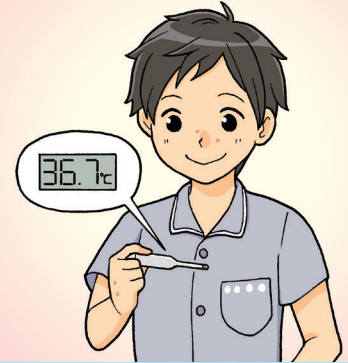
水分をとる



口の中の「ぶつぶつ」が痛くても、水分をしっかりとと  
ることが大切です。

## 登校することができるのは…… (手足口病・ヘルパンギーナ共通)

熱が下がる



熱が下がって元気になれば、「ぶつぶつ」が残っていても、学校に登校できます。

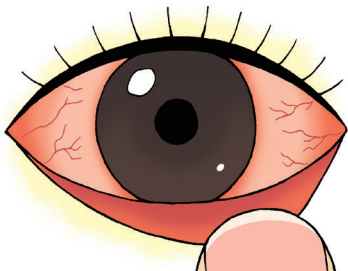
編集 板橋区立板橋小学校 小幡祥太郎 監修 全 客員教授 渡辺直樹 先生

学校感染症  
シリーズ②

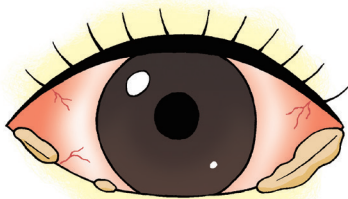
# アデノウイルスによる感染症

アデノウイルス感染症（流行性角結まく炎・いん頭結まく熱など）の症状

まぶたのはれ・じゅう血  
(流行性角結まく炎・いん頭結まく熱)



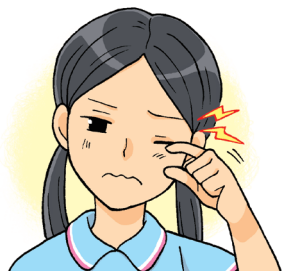
目やにが出る  
(流行性角結まく炎・いん頭結まく熱)



発熱 (いん頭結まく熱)



目の強いかゆみ・痛み  
(流行性角結まく炎・いん頭結まく熱)



なみだがたくさんこぼれる  
(流行性角結まく炎・いん頭結まく熱)



ほかにも

- ・のどの痛み (いん頭結まく熱)
- ・気管支炎
- ・肺炎
- ・胃腸炎
- ・赤いおしっこが出る (急性出血性ぼうこう炎) など

アデノウイルスの感染によって起こる症状にはさまざまなものがあり、熱があるかどうかや、目の症状などで病名が診断されます。

## 原因となるウイルス

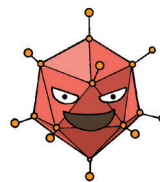
アデノウイルス

流行性角結まく炎

アデノウイルス 8、19、37、53、54、56 型など

いん頭結まく熱

アデノウイルス 3 型など



アデノウイルスは、発熱や目やのどの炎症だけではなく、肺や胃腸などでも炎症を起こすことがあります。しかも感染力が強く、感染者が使ったタオルを共用することで、感染することがあります。

手洗いやうがい、感染者とのタオルの共用をさけることなどが感染の予防につながります。

アデノウイルスが原因で起こる感染症には、さまざまなものがあり、流行性角結まく炎といん頭結まく熱も、そのうちのひとつです。流行性角結まく炎は、よく「はやり目」と呼ばれる感染症で、目のじゅう血やかゆみ、目やにが出るなどの症状が起こります。いん頭結まく熱は「プール熱」とも呼ばれる長い期間にわたって熱が出る感染症で、ほかの人への感染力も強いいため、すぐに登校できない場合があります。

## かかったときの対応

安静にする



目をさわったら  
すぐに手を洗う



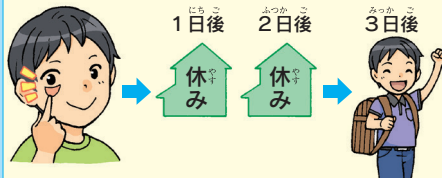
目をさわった手からほかの人に感染しやすいので、感染の拡大を防ぐためにも、こまめに手を洗いましょう。

## 登校することができるのは……

流行性角結まく炎→医師の許可が出たら



いん頭結まく熱→治ってから、2日過ぎた後



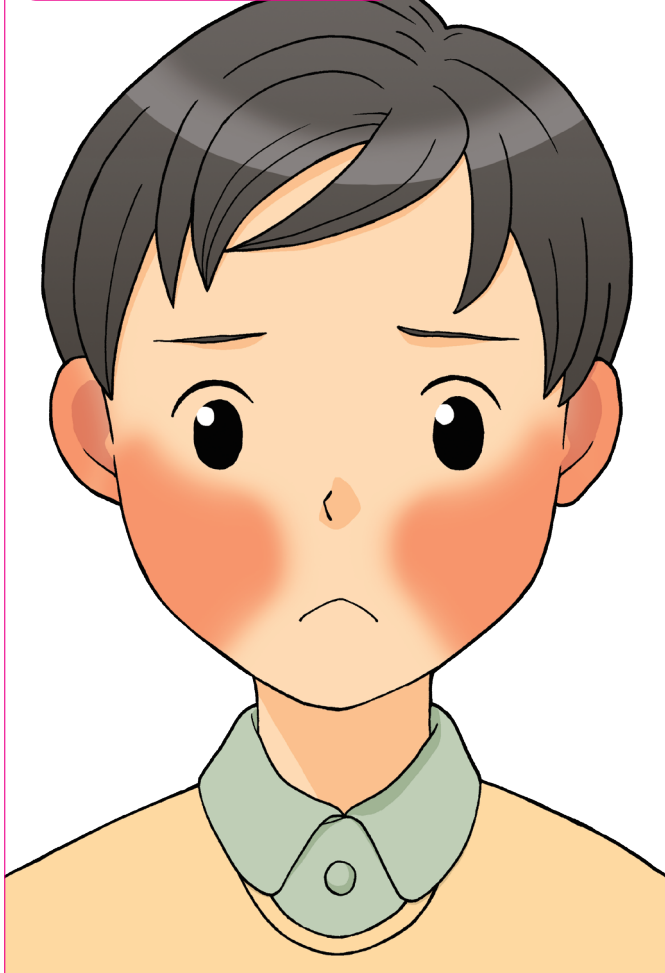
アデノウイルスは感染力が強いため、症状が長引いて、登校できない期間が10日以上になることもあります。

# 学校感染症 シリーズ③

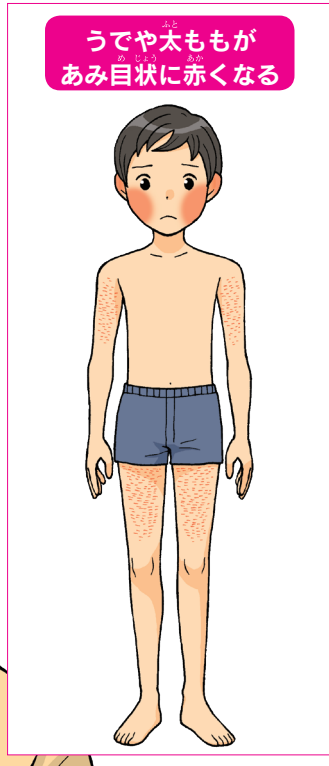
# 伝染性紅はん（りんご病）

## 伝染性紅はん（りんご病）の症状

ほお全体がはっきりと赤くなる



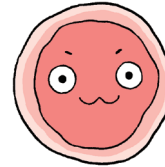
うでや太ももが  
あみ目状に赤くなる



顔の皮ふの赤みだけが出て、うでや太ももの皮ふの赤みは出ない場合があります。また、皮ふの赤みが出る前に、少し熱やだるさ、関節痛が出る場合がありますが、赤くなる症状が出るころには治まり、皮ふの赤みも1週間前後で消えていきます。

## 原因となるウイルス

ヒトバルボウイルスB19

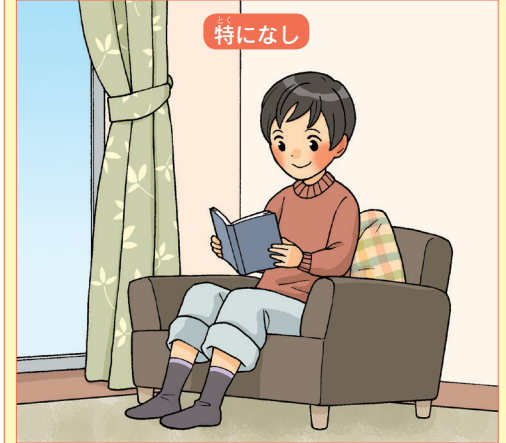


ヒトバルボウイルスは、一度感染すると、体にめんえきができるので、伝染性紅はん（りんご病）は二度かかることはありません。

ヒトバルボウイルスは、感染しても症状が出ないまま、めんえきができることもよくあります。

「りんご病」とも呼ばれる感染症です。伝染性紅はんによるほおや体の赤いは、原因で起こり、ほおが赤くはれる症状から、一週間前後で消えていき、一度感染した後に再び感染することは、ほとんどありません。また、赤いはれが出ているときは感染力も弱まっているため、体調がよければ、学校に登校することもできます。

## かかったときの対応



大人になってから（特におなかに赤ちゃんがいるときに）感染すると、重症化することがあります。

## 登校することができるのは……

全身の状態がよければ登校可能



ほおなどが赤くはれる症状が出るころにはウイルスの方も弱まっているので、体調がよければ登校できます。

学校感染症  
シリーズ④

# インフルエンザ

とくていとり  
特定鳥インフルエンザおよび  
しんがた  
新型インフルエンザ等感染症  
をのぞく  
を除く

## インフルエンザの症状

高熱が急に出る



体がだるくなる



せき・くしゃみ



鼻水・鼻づまり



頭痛



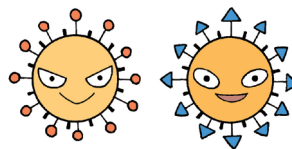
ほかにも

- ・のどの痛み
- ・関節、筋肉の痛み
- ・強い寒気
- ・熱性けいれん
- ・中耳炎 ・気管支炎 ・肺炎
- ・脳症 など

インフルエンザは、高熱などの症状が急に出て、何日も続くのが特徴です。また、何もせずにその状態が長引くと、別の細菌にも感染し、重症化して、中耳炎や肺炎などを起こすことがあります。

## 原因となるウイルス

インフルエンザウイルス



インフルエンザウイルスは、  
現在A・B・Cの3つの型が  
あります。C型は症状が軽く、  
高熱などの重い症状を起こす  
のはA型とB型です。

A型とB型のウイルスは、毎年少しずつ形が  
変化するため、毎年感染することもあります。

インフルエンザは、急な高熱や体のだるさ、  
せきや鼻水、頭痛や関節の痛みなどの症状が  
かぜよりも激しく、長く続きます。  
また、感染力が強く、ウイルスも少しずつ  
変化し続けているため、ほぼ毎年流行して、  
学校が休校になることもあります。  
予防法として、手洗いやうがいをするこ  
と、マスクの着用などがありますが、予防接種を  
受けることで、重症化を防ぐこともできます。

## かかったときの対応

安静にする



水分(スポーツ飲料・  
経口補水液)をとる

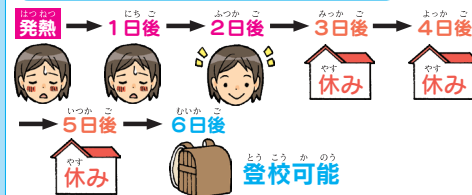


熱を下げる薬やインフルエンザを治りようする薬を飲むときは、必ず医師に相談してから飲みましょう。

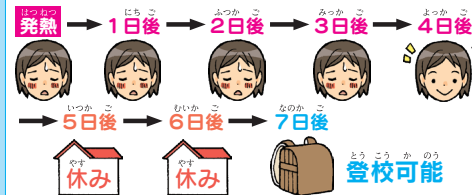
## 登校することができるのは……

発症(発熱)した後5日を経過し、  
かつ熱が下がった後2日を過ぎたら

例① 発熱して2日目に熱が下がったとき



例② 発熱して4日目に熱が下がったとき



早く熱が下がっても、ウイルスが体に残っているため、症状が出てから5日過ぎないと登校できません。

# 学校感染症シリーズ⑤ 流行性耳下せん炎（おたふくかぜ）

## 流行性耳下せん炎（おたふくかぜ）の症状

耳下せん、がっ下せんが赤くはれて、ふくらむ



### ほかの症状

- すいまく炎**
  - 頭痛
  - はき気
- 難ちよう**
  - 音が聞こえづらくなる
- 急性すい炎**
  - 腹痛
  - はき気
- 精そう炎**
  - 強い痛み
  - (丸で囲んだ部分)

このような症状が少しでもあるときは注意が必要です。

## 原因となるウイルス

### ムンプスウイルス



ムンプスウイルスは飛まつ（せきやくしゃみなどで飛ぶつばのしぶき）や飛まつにふれた手を通じて、ウイルスが鼻や口から入って感染します。感染しても症状が出ないこともあります。

ムンプスウイルスは、強い感染力を持っていますが、一度感染するとめんえきができます。

流行性耳下せん炎は「おたふくかぜ」とも呼ばれる、耳の下やあごの近くが赤くはれて、ふくらみ、熱が出る感染症です。感染力が強く、症状が出てから五日過ぎても、体調がよくなるまでは登校できません。ほかの重い症状も起こしやすく、頭痛や、激しいはき気と腹痛、音が聞こえにくくなるなどの症状が出たときは、すぐに病院でみてもらう必要があります。

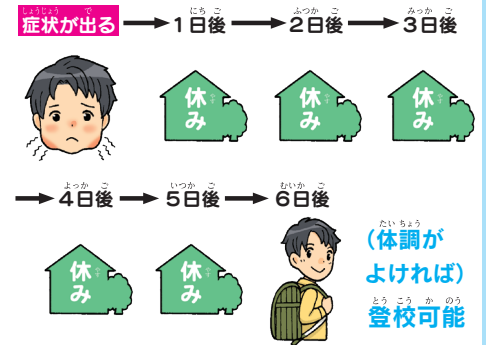
## かかったときの対応



食事の際に、耳下せんなどからだ液が出る痛みが増すので、水分が多くやわらかいものを食べましょう。

## 登校することができるのは……

症状が出た後5日を経過し、かつ全身の状態がよければ登校可能



学校で感染が広がらないように、症状が治まり、症状が出てから5日過ぎた後という条件がついています。

耳下せんのはれは、片側だけに出ることもあります。また、頭痛や腹痛、音が聞こえづらくなるなどの症状が出る時もあり、その場合はすぐに病院に行きましょう。

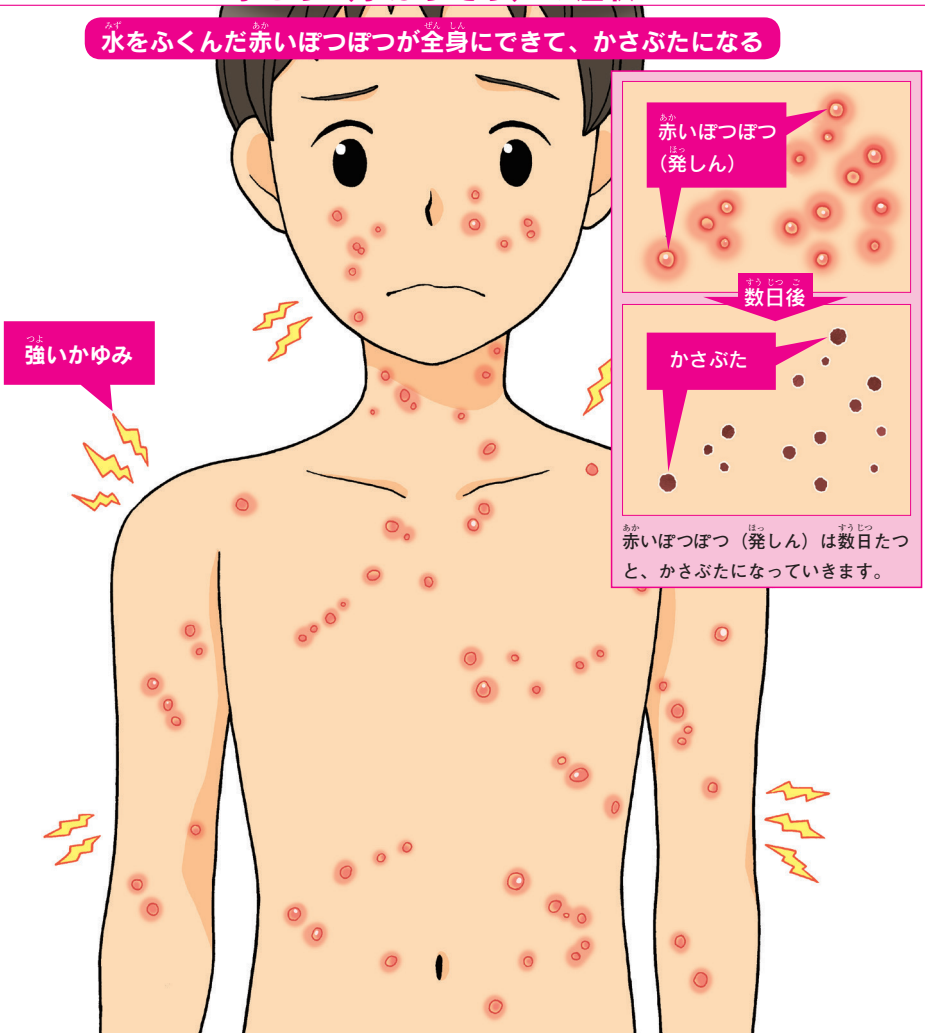
原稿提供：板橋区医師会病院 小児科部長 藤田 幸司 先生

# 学校感染症 シリーズ⑥

# 水とう（水ぼうそう）

## 水とう（水ぼうそう）の症状

水をふくんだ赤いぼつぼつが全身にできて、かさぶたになる



赤いぼつぼつ (発しん)

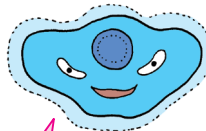
数日後

かさぶた

赤いぼつぼつ (発しん) は数日後と、かさぶたになっていきます。

## 原因となるウイルス

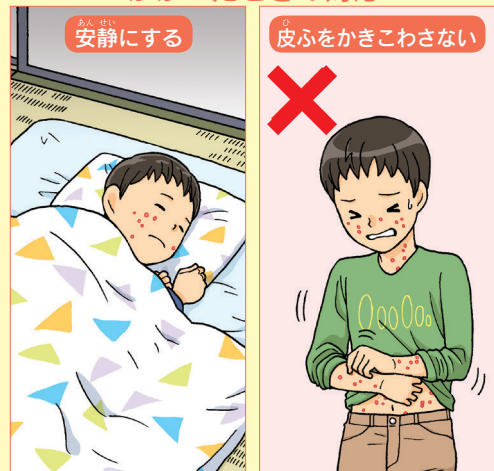
水とう・帯状ほうしんウイルス



空気感染もする非常に感染力の強いウイルスで、大人になって初めて感染すると、重症化しやすくなります。また、感染後も体内に残り、「帯状ほうしん」と呼ばれる病気を起こすことがあります。

近年は、乳幼児のときに受ける予防接種によって、重症化がおさえられています。

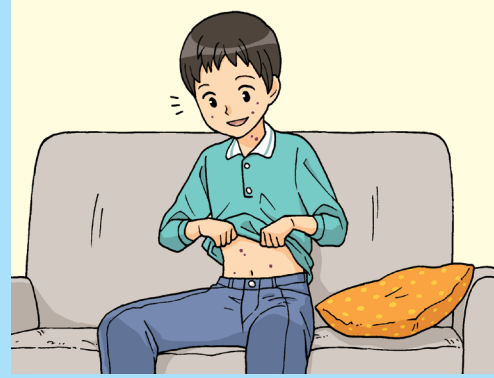
## かかったときの対応



皮ふをかきこわすと、傷ついた皮ふから細菌が入って傷口がただれ、あとが残ることがあります。

## 登校することができるのは……

赤いぼつぼつ (発しん) が、すべてかさぶたになったら



感染力が非常に強いので、全身の赤いぼつぼつがすべてかさぶたになるまでは、登校できません。

最初に赤いぼつぼつが数個できて、かさぶたになりますが、その間に次々と新しい赤いぼつぼつが全身にわたって出現し、強いかゆみが出ますが、治りょう薬を使うことで、症状を軽くすることができます。